SONY

3-810-885-**04** (1)

はじめに 2ページ～

撮る 12ページ～

見る 17ページ～

使いこなす 21ページ～

ご注意など 42ページ～

詳しい目次は7ページにあります。

ビデオカメラレコーダー Hi8

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

video Hi8 Handycam

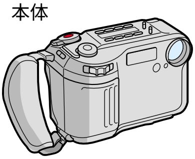
CCD-SC55

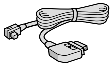
© 1996 by Sony Corporation

とにかく撮って見る

必要なもの

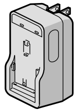
本体



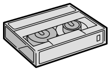


接続コード
（本機に付属）

アクセサリーキット
（別売り）
ACパワーアダプター

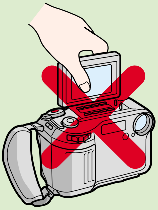


8ミリビデオカセット
（別売り）



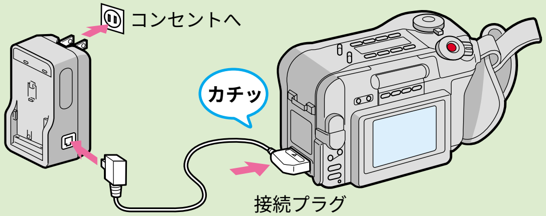
Hi8マークのついたHi8
（ハイエイト）テープを
おすすめしま す。

**液晶画面を持たない
でください！**

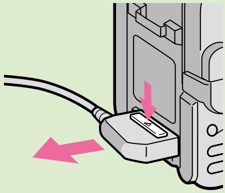


1　電源をつなぐ（35ページ）

屋外ではバッテリーを使います →8ページ

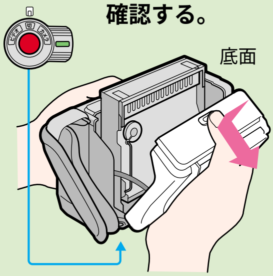


接続プラグをはずすとき
ボタンを押しながら抜く



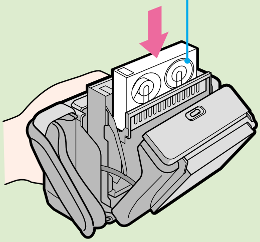
2　カセットを入れる（10ページ）

❶ **電源スイッチが「切」になっていることを確認する。**

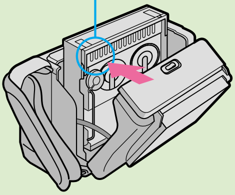


❷ **本体底面のスライドつまみをずらしながらふたを開ける。**

❸ **テープ窓を外側にして入れる。**

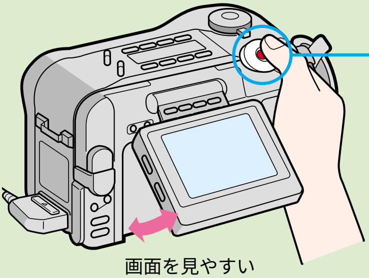


❹ **PUSH/押 マークを押して、カセット入れを閉める。**



❺ **カセットぶたを閉める。**

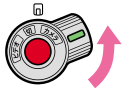
3 撮影する（12ページ）



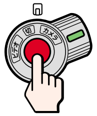
画面を見やすい
角度にする。

* 赤いボタンを押している間撮影したり、
5秒ずつ撮影するように設定するには、
14ページをご覧ください。

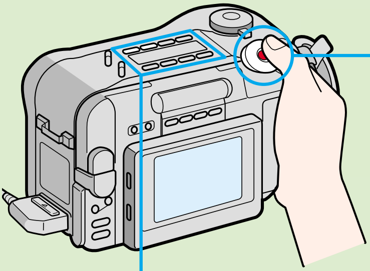
❶ 緑のボタンを押しながら
「カメラ」にする。



❷ 赤いボタンを押す。
撮影が始まる。
もう一度押すと止まる。*

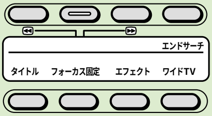


4 再生する（17ページ）

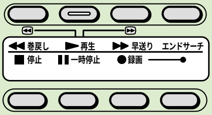


電源スイッチの位置によって、
ボタンの機能が変わります。
表示されたボタンのみ使えます。

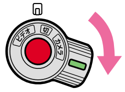
電源スイッチが「カメラ」のとき



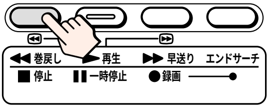
電源スイッチが「ビデオ」のとき



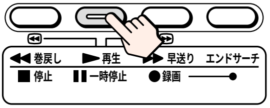
❶ 緑のボタンを押しながら
「ビデオ」にする。



❷ ◀◀ボタンを押して巻き戻す。

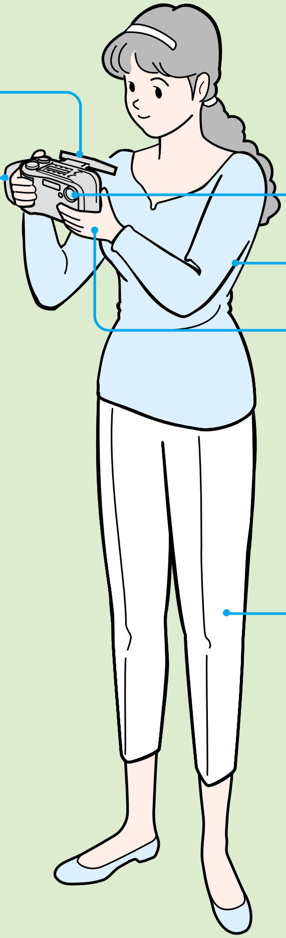


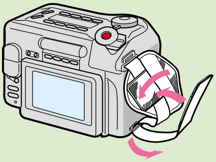
❸ ▶ボタンを押して再生する。



うまく撮る姿勢

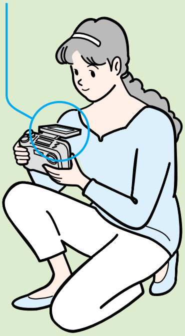
見やすい画像にするコツは、ハンディカムを動かしすぎないことです。
ふらつかないよう、安定した姿勢で撮影しましょう。





低い位置で撮る姿勢（ローアングル）

液晶画面を上向きに調節する。

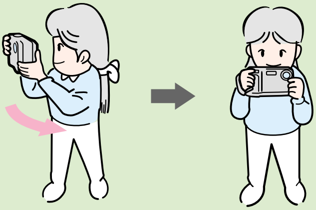


高い位置で撮る姿勢（ハイアングル）

撮影の基本

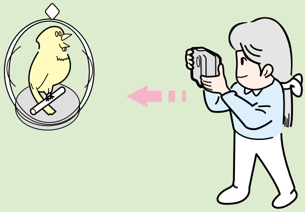
ハンディカムをふり回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右に動かすとき（パンニング）は、撮り終わりの方につま先を向け、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、しっかり止めます。



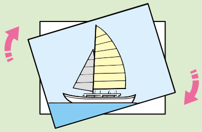
ズームは多用しない。

ズームレバーをW側（Wide（ワイド）：広角）にすると、ブレが少なく、ピントが合いやすい状態になります。被写体を大きく撮りたいときは近づいて撮ることをおすすめします。ズームレバーをT側（Telephoto（テレフォト）：望遠）にして撮るよりも、音もよく入り、安定したきれいな画像が撮影できます。



安定した画面にする。

- 壁によりかかるなどして安定した姿勢をとる。
- 水平、垂直の線を液晶画面の枠に合わせる。



- 三脚を使う。

逆光を避ける。

太陽を背にして、被写体の正面に光が当たるようにします。

必ずお読みください

別売りのアクセサリーキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

液晶画面の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

目次

はじめに

とにかく撮って見る 2
うまく撮る姿勢 4
準備1　バッテリーを充電する 8
準備2　バッテリーを本体に入れる 9
準備3　カセットを入れる 10
遮光フードを使う 11

撮る

撮影する 12
最後に撮影した部分に戻る－エンドサーチ 16

見る

再生する 17
テレビで見る 20

使いこなす

撮影

液晶画面を上げて撮る－対面撮影 21
フェードイン・フェードアウトする 22
逆光を補正する 23
撮影中に日時を記録する 24
目的に合わせて撮る－プログラムAE 25
タイトルを入れる 26
タイトルを作る 28
画像に特殊効果を加える－ピクチャーエフェクト 30
横長の画面にする－ワイドTVモード 31
手振れ補正を解除する 32

編集

他のビデオへ録画する 33
ビデオやテレビの画像を録画する 34

その他

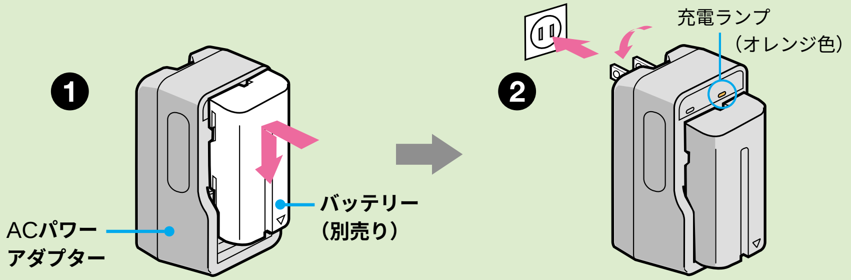
バッテリー以外の電源で使う 35
各種の設定を変える－メニュー 36
液晶画面の色のこさ・色あいを調節する　39
日付・時刻を合わせ直す 40

ご注意など

使えるビデオカセットと記録・再生方式　42
お手入れについて 43
故障かな？と思ったら 45
保証書とアフターサービス 48
海外で使うとき 48
主な仕様 49
各部のなまえ 50
用語解説 54
警告表示とお知らせメッセージ 56
索引 57
こんなときはこの機能 ..... 裏表紙

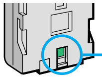
準備1 バッテリーを充電する

バッテリーの充電には別売りの充電器が必要です。
ここではACパワーアダプターAC-V615を使った例を説明します。
別売りのACパワーアダプターの取扱説明書もあわせてご覧ください。



バッテリーについて

- バッテリーには充電確認マークがついています。充電後に「■」側にする習慣にしておくと、ひと目で充電済みかどうかわかり便利です。



  ACパワーアダプターにつけて充電したときは自動的に「■」側になります。
- 本体にバッテリーを入れたまま充電する→35ページ

InfoLITHIUM（**インフォリチウム）バッテリーとは**
インフォリチウムバッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機はインフォリチウムバッテリー対応です。インフォリチウムバッテリーNP-F530で使えます。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

❶ バッテリーを押しながら下にずらしてつける。

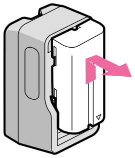
❷ コンセントにつなぐ。

充電が始まると、充電ランプが点灯する。

充電が終わると消える（**実用充電**）。さらに約1時間充電すると若干長く使えます（**満充電**）。

充電器から取りはずす

バッテリーを上にずらす。

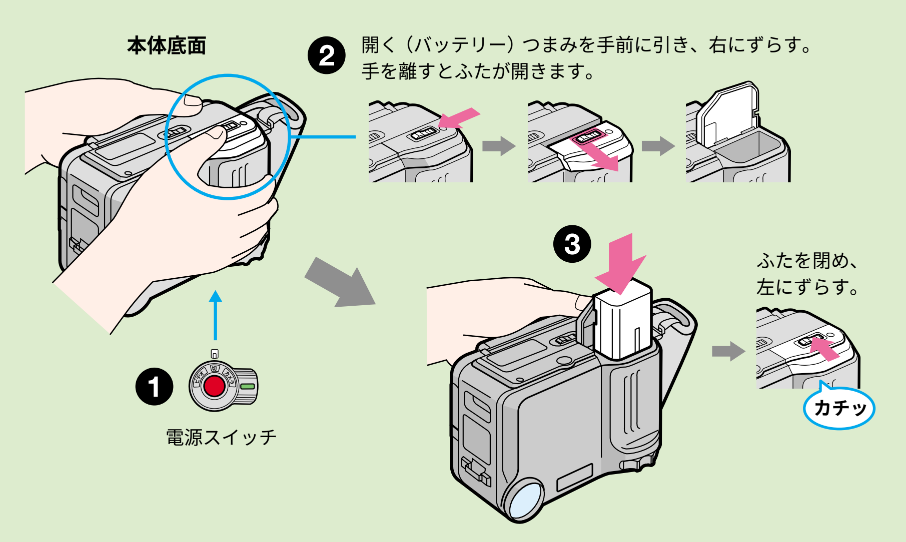


充電時間

バッテリー	満充電時間（実用充電時間）
NP-F530	約170分（約110分）
NP-500	約150分（約90分）
NP-510	約160分（約100分）

使い切ったバッテリーをAC-V615で充電したときの時間です。

準備2 バッテリーを本体に入れる



誤動作を防ぐために
バッテリーを出し入れするときは必ず電源スイッチを「切」にしましょう。

撮影中のバッテリー残量時間表示
バッテリーパックNP-F530をお使いのときは、あと何分連続撮影で使えるかを液晶画面に表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。遮光フードを閉じたときは、開いてから正しい残量時間（分）を表示するのに約2分かかります。

バッテリーを取り出すときは
バッテリー落下防止のため、ふたを上にして取り出してください。

* 録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがある。
** 常温で撮影したときの時間

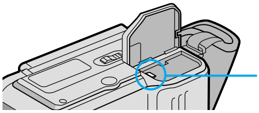
1 電源スイッチが「切」になっていることを確認する。

2 **ふたを開ける。**

3 **バッテリーを入れ、ふたを閉める。**

本体から取り出す

ふたを開け、取り外しツメをはずして取り出す。

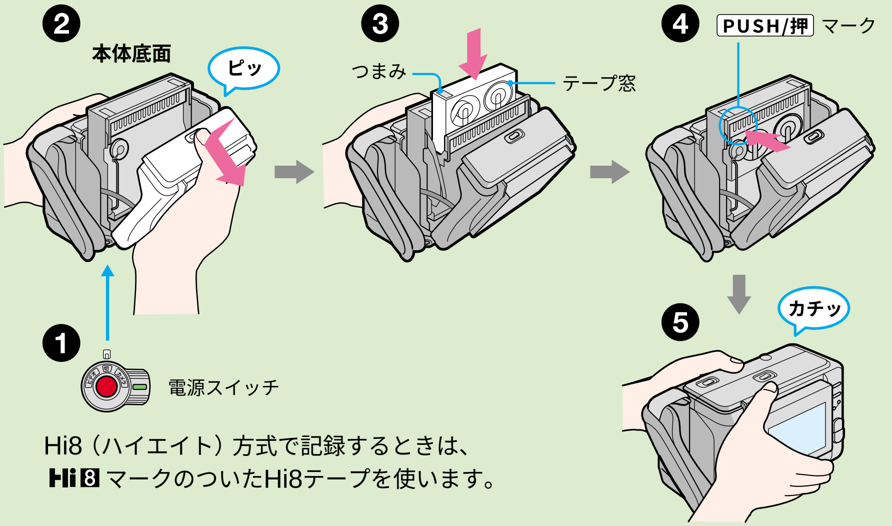


使用時間

バッテリー	実撮影時*	連続撮影時**	液晶画面で再生時
NP-F530	約60（55）分	約100（85）分	約105（90）分
NP-500	約50（45）分	約85（75）分	約90（80）分
NP-510	約55（50）分	約90（80）分	約95（85）分

（　）内は実用充電してから、それ以外は満充電してから使用したときの時間です。

準備3 カセットを入れる



Hi8（ハイエイト）方式で記録するときは、
Hi8 マークのついたHi8テープを使います。

ご注意

- カセット入れを無理に下げないでください。故障の原因になります。
- カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。
  はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

誤動作を防ぐために

カセットを出し入れするときは必ず電源スイッチを「切」にしましょう。

1 電源スイッチが「切」になっていることを確認する。

2 **開く/カセット取り出しつまみをずらしながら開ける。**

カセット入れが自動的に上がって開く。

3 **カセットを入れる。**

テープ窓を外側に、つまみを上側にして入れる。

4 **PUSH/押 マークを押してカセット入れを閉める。**

カセット入れが自動的に下がる。

5 **ふたを閉める。**

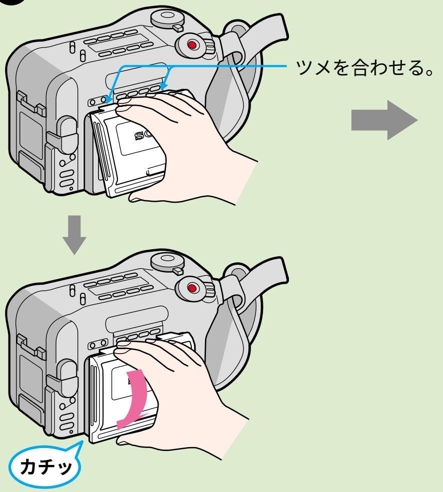
カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

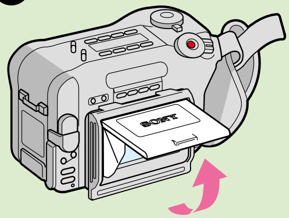
遮光フードを使う

光が反射して液晶画面が見にくくなることを防ぎます。また、使っていないときにゴミや指紋がつくのを防ぎます。

❶



❷



ご注意

遮光フードには磁石がついています。磁気カードなどを近づけないでください。

遮光フードを閉じると

自動的に液晶画面が消え、スピーカーから音が出なくなります。

❶ フードを取りつける。

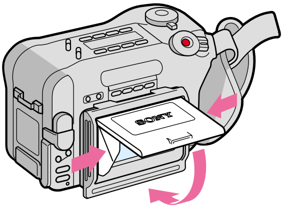
上のツメを合わせてから下側をはめこむ。

❷ フードを開ける。

閉じるとき/取りはずすとき

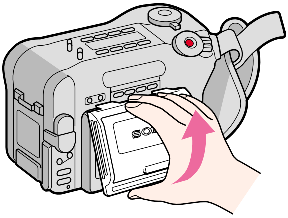
閉じるとき

両側の羽を先にたたむ。



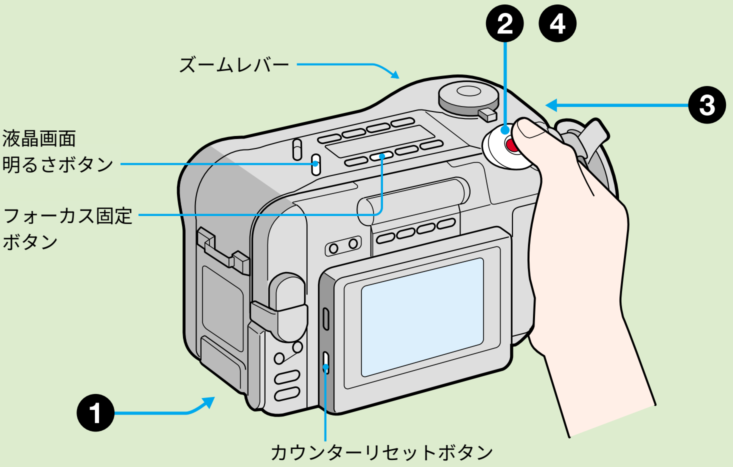
取りはずすとき

下のツメを先にはずす。



撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。



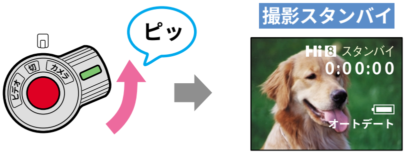
ご注意

- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- レンズに指がかからないようにご注意ください。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。（有効画素99.99%以上）これらの点は、テープに記録されません。

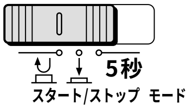
テープの最初から撮影するときは
15秒ほど撮影してから本番の撮影をすることをおすすめします。テープの一番初めから撮影すると、他の再生機では初めの部分が欠けることがあります。

1 バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。
「準備1～3」（8～10ページ）をご覧ください。

2 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。
撮影スタンバイになる。



3 スタート/ストップモードつまみを ⍗ にする。
（お買い上げ時は ⍗ になっています。）



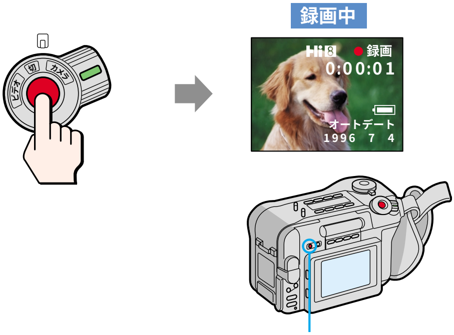
オートデート機能
1日1回、撮影のはじめの10秒間に撮影日が自動的に記録されます。
記録が終わると「オートデート」表示は消えます。次のときはオートデート機能が1日に2回以上働きます。
- 10秒以内に撮影を止めたとき
- カセットを入れ換えたとき
- メニューの「オートデート」を「切」にしたあと再び「入」にしたとき
- 日時を合わせ直したとき

オートデート機能を解除したいときは38ページをご覧ください。

テープカウンターを「0：00：00」にするときは
カウンターリセットボタンを押します。

❹ スタート/ストップボタンを押す。

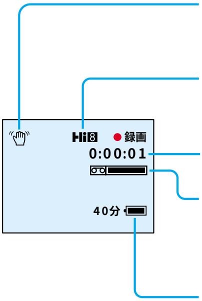
撮影が始まる。
もう一度押すと止まります。



撮影中に点灯する。

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。



手振れ補正「入」のときに出る。(32ページ)

ハイエイト表示
Hi8 (ハイエイト) 方式のときに出る。

テープカウンター

テープ残量表示 (56ページ)
カセットを入れて、しばらくテープを走行させると出る。

バッテリー残量表示 (56ページ)
分表示はバッテリーパックNP-F530を使っているときのみに出る。

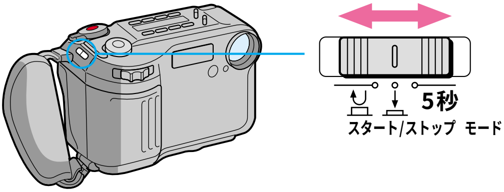
きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、電源を切っても撮影した場面はきれいにつながります。バッテリーの交換は電源を切ってから行えば、きれいなつなぎ撮りができます。

スタート/ストップモードで「5秒」を選んだとき
液晶画面に「•••••」が出て1秒たつごとに • が1つずつ消えます。撮影時間を延長するには • がすべて消えてしまわないうちに、もう1度スタート/ストップボタンを押します。押したときからまた約5秒間撮影されます。

近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。
ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約100cm以上です。

デジタルズームについて
- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は20倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで「デジタルズーム」を「切」にすると、気付かないうちにデジタルズームになるのを防ぎます（38ページ）。

スタート/ストップモードを選ぶ



：　スタート/ストップボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります（お買い上げ時の設定）。

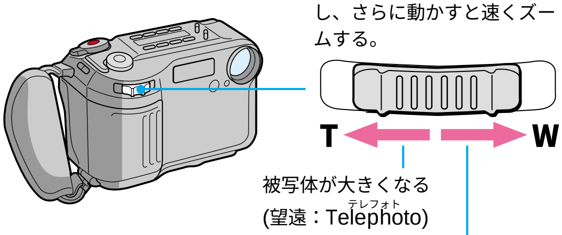
：　スタート/ストップボタンを押している間のみ撮影し、離すと止まります。

5秒：　スタート/ストップボタンを押すと5秒間撮影して止まります。

ズームする

ズームレバーを動かす。

少し動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。

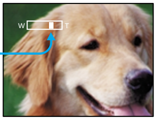


使いすぎると
見づらい作品になります。

被写体が小さくなる
(広角：Wide)

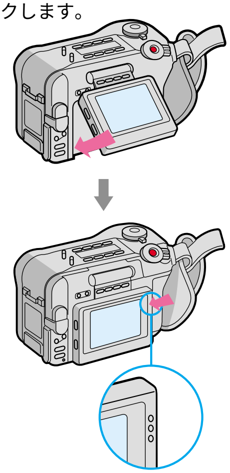
10倍を超えるズームはデジタルズームになります。

このラインよりT側が
デジタルズームになります。



液晶画面をもとの位置に戻すとき

もとの位置に戻してから右上のマーク部を押し込み、ロックします。



液晶の部分を押したり、さわったりしないようにしてください。

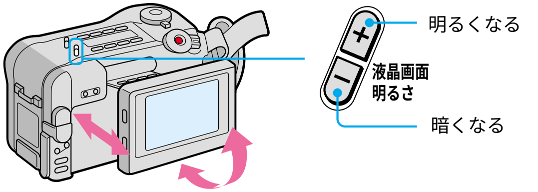
撮影が終わったら

1 電源スイッチを「切」にする

2 カセットを取り出す。

3 バッテリーを取り出す。

液晶画面を見やすくする

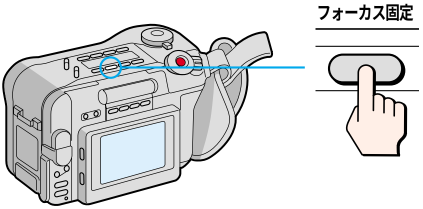


屋外では日差しの加減で液晶画面が見えにくいことがあります。その場合、遮光フードを使ってください。

一時的にピントを固定する

撮りたいものにピントが安定しないときなどに使います。希望の被写体にピントが合っているときに、フォーカス固定ボタンを押します。

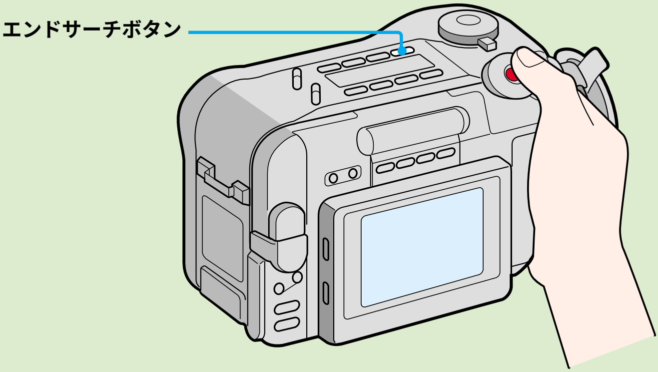
撮影スタンバイ中または、撮影中にフォーカス固定ボタンを押す。



液晶画面に 🔒 マークが出ている間は、ピントが固定されます。

最後に撮影した部分に戻る－エンドサーチ

最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときや、
撮った画面が気になるときに使います。



ご注意

エンドサーチをしてからつなぎ撮りをすると、まれに場面がきれいにつながらないことがあります。

次のとき、エンドサーチ機能は働きません

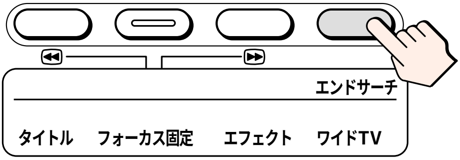
撮影後、カセットを取り出したとき

エンドサーチとは？

本機では、撮影後にカセットを取り出すまで最後に撮影を終えたテープの位置を記憶しています。エンドサーチはこの位置を探す機能です。

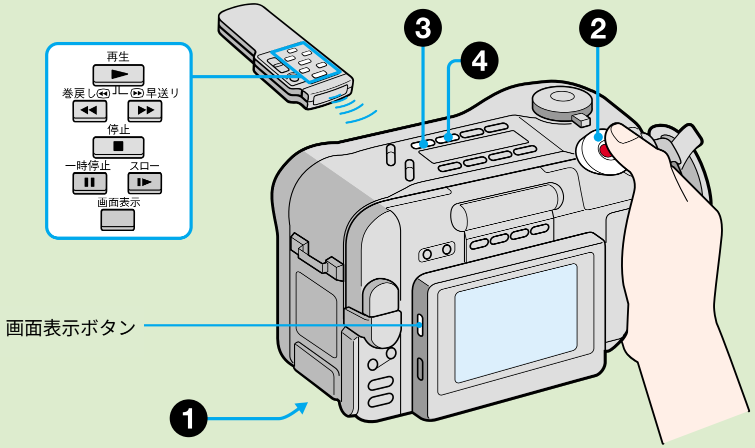
[撮影スタンバイ中] に、
エンドサーチボタンを押す。

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生されて止まる。



再生する

リモコンでも操作できます。



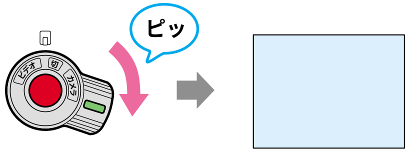
見る

ご注意

外国製のビデオソフトのなかには、カラーテレビ方式が異なるため本機で再生できないものもあります。

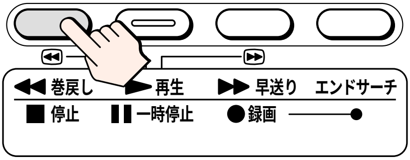
❶ バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

❷ **緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。**



操作ボタン表示窓が点灯する。

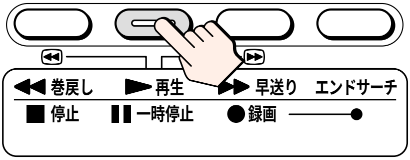
❸ **巻き戻しボタンを押す。**



巻き戻しが始まる。

次のページへつづく

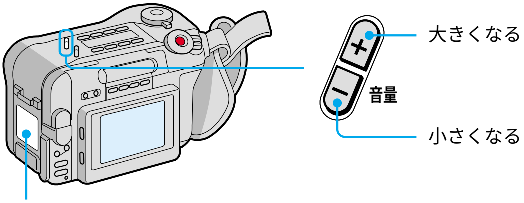
❹ **再生ボタンを押す。**



画像が映る。

音量を調節する

本体の音量＋/–ボタンを押して調節する。

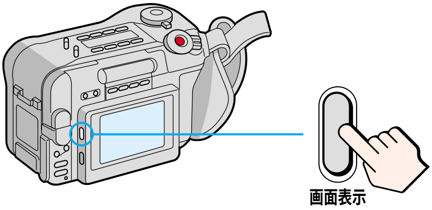


カウンターなどの表示を出す－画面表示機能

本体またはリモコンの画面表示ボタンを押す。

液晶画面に表示が出ます。

消すときは、もう1度押します。



いろいろな再生

止める

[再生中] ■停止ボタンを押す。

静止画を見る（クリスタルスチル*）

[再生中] ▮▮一時停止ボタンを押す。

もう1度押すか、►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[再生中] ■停止ボタンを押し、►►早送りボタンを押す。

►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[再生中] ■停止ボタンを押し、◄◄巻き戻しボタンを押す。

►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする（クリスタルピクチャーサーチ*）

[再生中] ►►早送りボタン/◄◄巻き戻しボタンを押し続ける。

離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

[早送り中] または [巻き戻し中] ►►早送りボタン/◄◄巻き戻しボタンを押し続ける。

離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る（クリスタルスロー*）

[再生中] リモコンの▮►スローを押す。

►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）

[停止中] エンドサーチボタンを押す。

最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

再生中の音声は
ふつうの再生時以外は音声は出ません。

一時停止（静止画）について
- 画像にノイズが出ることがありますが、故障ではありません。
- 5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度►再生ボタンを押します。

スロー再生について
1分以上続くと自動的にふつうの再生に戻ります。

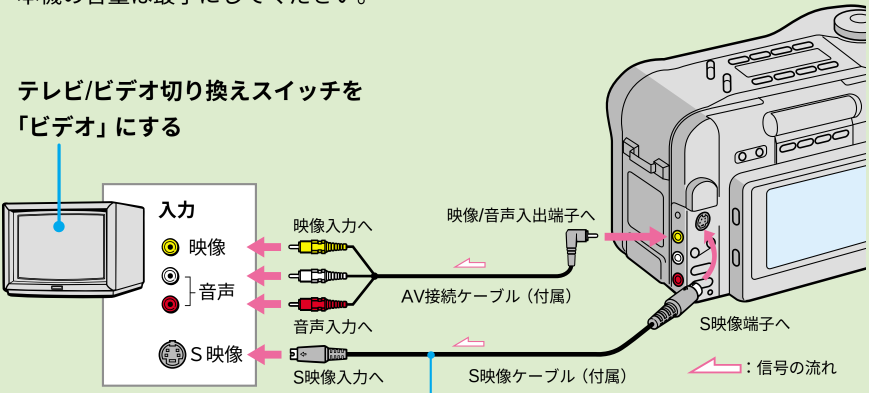
エンドサーチとは？
本機では、撮影後にカセットを取り出すまで最後に撮影を終えたテープの位置を記憶しています。エンドサーチはこの位置を探す機能です。
撮影後、カセットを取り出していないときに限り、エンドサーチが働きます。

*クリスタルスチル/クリスタルピクチャーサーチ/クリスタルスローでは液晶画面でのノイズを軽減します。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機に付属のAV接続ケーブルを下の図のようにつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。本機の音量は最小にしてください。

テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする



テレビにS映像端子がついている場合、S映像端子を使うと再生画像がより鮮明になります。
（S映像端子と接続したときはAV接続ケーブルの黄色い映像端子は接続不要です。）

別売りのハンディカムステーションをお使いになるときは
別売りのハンディカムステーションアダプターETA-26を本機に取り付けてから接続してください。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。

音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

液晶画面を上げて撮る－対面撮影

自分を撮ったり、固定して大勢で撮ったりするときに液晶画面を上に180°反転させると液晶画面と向かいあって撮影できます。

液晶画面に映る画像は鏡のように左右対称になりますが、記録される映像は実際の被写体と同じです。

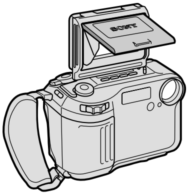
自分を撮るとき　　液晶画面に映る映像　　記録される映像

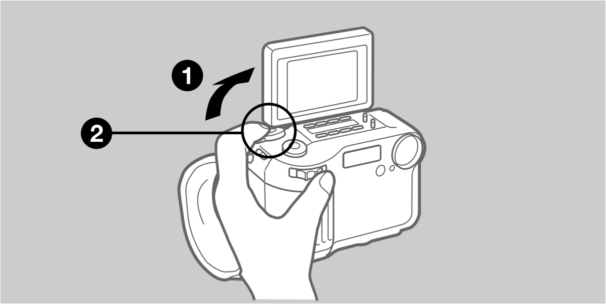
対面撮影中は
以下の機能は働きません。
- メニュー
- タイトル
- 日付・時刻

対面撮影中の表示
- 撮影スタンバイ中は❚❚●、撮影中は●が表示されます。
- エンドサーチ表示、フェーダー表示、オートデート中の日付は左右が反転します。オートデート中の日付の記録は正常です。
- ピクチャーエフェクトとワイドの文字は表示されません。
- インフォリチウムバッテリーNP-F530を使っていても、分単位のバッテリー残量は表示されません。

対面撮影中に操作しにくいときは
リモコンも使えます（52ページ）。

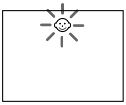
遮光フードを取り付けるとき
逆さに取り付けられます。





❶ [撮影スタンバイ中] に
液晶画面を上にあげる。

対面撮影モード表示 が出る。

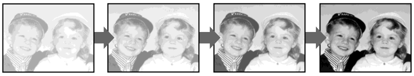


❷ **撮影する。**

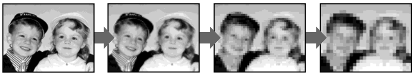
フェードイン・フェードアウトする

白画面やモザイク画面から徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）する演出ができます。

例：白画面からのフェードイン



例：モザイク画面へのフェードアウト



こんなときに使うと効果的です

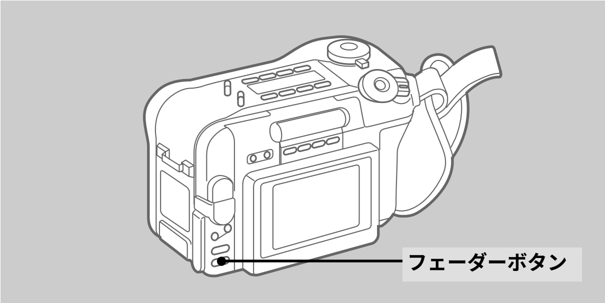
- 大きな場面転換（フェードアウト・フェードイン）
- 物語の始めなど（フェードイン）
- 一日の終わりなど（フェードアウト）
- 余韻を残して終わる（フェードアウト）

フェードを多用すると
被写体の状況が わかりづらくなり、見づらい映像になります。

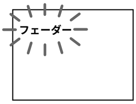
日付や時刻表示にはフェードは働きません
不要の場合は日付、時刻表示を消してから行ってください。

フェード中は
タイトルを入れられません。また、タイトル表示中はフェードイン・フェードアウトはできません。

スタート/ストップモードつまみが ⊥ か5秒のとき
フェードイン・フェードアウトはできません。



❶ • フェードインは [撮影スタンバイ中] に
• フェードアウトは [撮影中] に
フェーダーボタンを押して希望のフェーダー表示を出す。



押すたびに変わります。
フェーダー→モザイクフェーダー
→（表示なし）

❷ **スタート/ストップボタンを押す。**

フェーダー表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除されます。

フェードイン・フェードアウトを解除する

フェード終了後：自動的に解除される。

フェード前：スタートストップボタンを押す前に再度フェーダーボタンを押し、液晶画面の表示を消す。

逆光を補正する

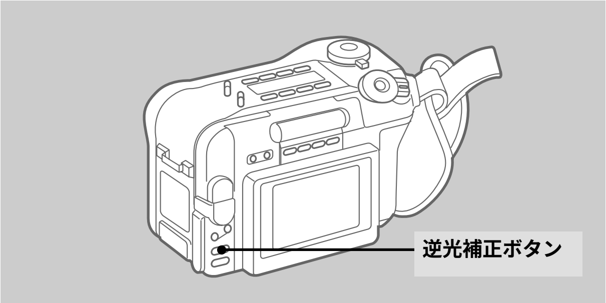
逆光のときは背景が明るすぎて被写体が暗めになるので、明るさ補正をして撮ります。

いつ使う?

被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るときなど。

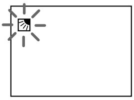
次の場合にも、逆光の補正をすると効果的です

- 画面の中に強い光を発するものがあるとき
- 白い服を着た人物が白い壁の前にいるとき



逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示が出る。



被写体の明るさが補正される。

逆光補正を解除する

逆光補正ボタンをもう1度押して、逆光補正表示を消す。

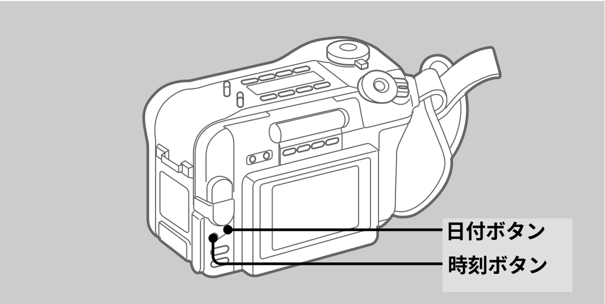
撮影中に日時を記録する

日付・時刻を画像にかさねて記録します。あらかじめ10秒ほど黒画面を背景に日時のみを記録し、本番の撮影のときは日時を消しておくことをおすすめします。ずっと日時を入れたままにすると、再生したときに映像の邪魔になったり、編集のときに表示の日時が前後してしまったりします。

ご注意

- 日付と時刻は同時に記録できません。
- タイトルと日付または時刻は、同時に記録できません。
- 一度記録した日時は消せません。
- 本機はデータコード機能に対応していません。

「ワイド シネマ」で撮影中は
日付や時刻を表示すると、日付、時刻、バッテリー残量の表示が上にあがります。



[撮影中] に
日付を入れる →日付ボタンを押す。
時刻を入れる →時刻ボタンを押す。

表示を消すとき

もう1度押す。

目的に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

スポットライトモード
舞台や結婚式など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ソフトポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。また肌色がきれいになるようにします。

スポーツレッスンモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のブレを少なくします。

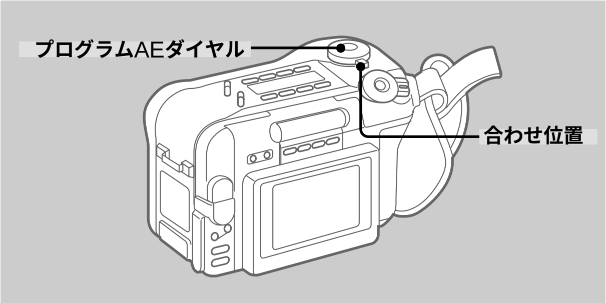
ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに再現します。

風景モード
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影するときに、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

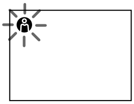
ご注意

- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  －スポットライトモード
  －スポーツレッスンモード
  －ビーチ＆スキーモード
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  －サンセット＆ムーンモード
  －風景モード



[撮影中] または [撮影スタンバイ中] に
プログラムAEダイヤルを回して希望のモード記号を本体の合わせ位置に合わせる。

プログラムAEモード表示が出る。



ボタンについているものと同じ表示が出ます

自動調節に戻すとき

プログラムAEダイヤルの●を本体の合わせ位置に合わせる。

プログラムAEモード表示が消える。

使いこなす

タイトルを入れる

撮影中にタイトルを入れることができます。あらかじめ記憶している8種類のタイトルと2種類の自分で作ったタイトルの中から内容にあったものを選べます。(タイトルを作る28ページ)

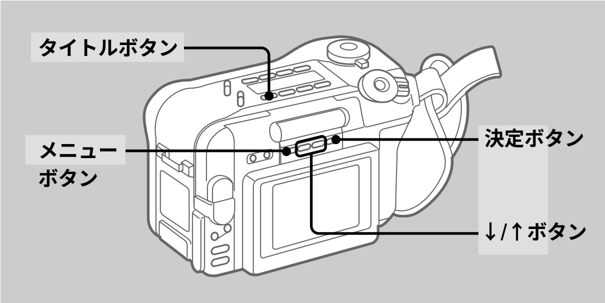
タイトルの種類
タイトルボタンを押すたびに次のタイトルが順に表示されます。「自分で作ったタイトル」は作っていないときには表示されません。
- 自分で作ったタイトル1
- 自分で作ったタイトル2
- 入学式
- 卒業式
- たんじょうび
- 運動会
- 発表会
- 夏休み
- 祝
- 完

「完」のあと一回タイトル表示がなくなり、はじめにもどります。

タイトルの選択は
撮影中にはできません。

タイトル表示中は
フェードイン・フェードアウトできません。また、フェード中はタイトルを入れられません。

タイトルと日付・時刻は
同時に記録できません。



撮影の始めから入れるとき

❶ [撮影スタンバイ中] に
タイトルボタンを繰り返し押して、出したいタイトルを表示させる。
点滅から点灯に変わると決定です。

❷ **撮影を始める。**

❸ **タイトルを消したいところでタイトルボタンを押す。**
タイトル表示が消える。

タイトルを入れて撮影しているときは
メニュー画面を出すと、メニュー画面が出ている間はタイトルが記録されません。

撮影の途中でタイトルを入れるとき

❶ [撮影スタンバイ中] に
タイトルボタンを繰り返し押して、出したいタイトルを表示させる。

❷ **タイトルが点滅から点灯に変わったら、タイトルボタンを押してタイトルを消す。**

❸ **撮影を始める。**

❹ **タイトルを入れたいところでタイトルボタンを押す。**

❺ **タイトルを消したいところでタイトルボタンを押す。**

タイトルの色を変える

1 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 ↓または↑ボタンを押して「タイトル色」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↓または↑ボタンを押して好きな色を選び、決定ボタンを押す。しろ、きいろ、むらさき、あか、みずいろ、みどり、あおから選べます。

タイトルの位置を変える

1 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 ↓または↑ボタンを押して「タイトル位置」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↓または↑ボタンを押して「センター」か「下」を選び、決定ボタンを押す。

「センター」のとき

「下」のとき

タイトルを作る

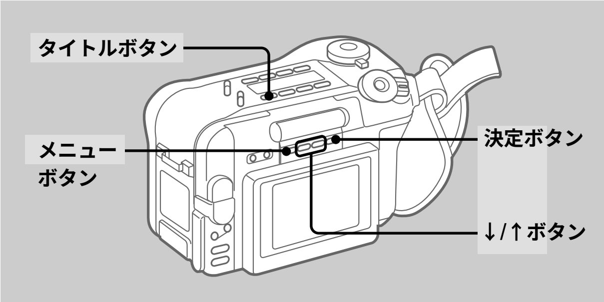
自分で10文字以内でタイトルを作って2種類
まで本機に記憶できます。

タイトル作成に5分以上かかるとき
カセットが入っていて撮影スタンバイが５分以上続くと、自動的に電源が切れます。5分以上かかりそうなときはカセットを取り出しておけば電源は切れません。電源が切れたときは一度電源スイッチを「切」にしてから「カメラ」にします。それまでに作成したタイトルは残っています。

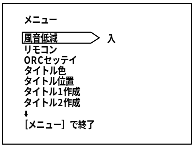
文字を速く送りたいときは
↓または↑ボタンを押し続けます。

あきを作りたいときは
空白を選びます。空白は一文字分となります。

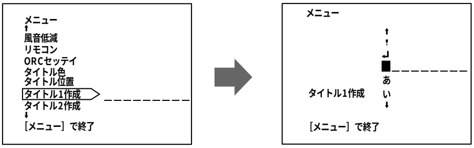
作ったタイトルが10文字になると
その時点でタイトルが記録されます。



❶ [撮影スタンバイ中] に
メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

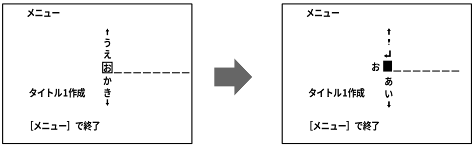


❷ **↓または↑ボタンを押して「タイトル1作成」または「タイトル2作成」を選び、決定ボタンを押す。**



❸ ↓または↑ボタンを押して希望の文字を選び、決定ボタンを押す。

次の文字に移ります。



ひらがな → 数字 → アルファベット → – → ？
↑ ←―――――― □(空白) ← ↲ ← ! ←

の順に出ます。

❹ 手順3を繰り返して希望のタイトルを作る。

❺ ↓または↑ボタンを押して ↲ を選び、決定ボタンを押す。

タイトルが記憶される。

❻ メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

作成したタイトルを消す

メニューボタンを押して、消したいタイトルを選び、決定ボタンを押す。

左端の文字で ↲ を選び、決定ボタンを押す。
空白を選んで消さないでください。空白のタイトルとして記憶されます。

作成したタイトルを変更する

メニューボタンを押して、変更したいタイトルを選び、決定ボタンを押す。作成するときと同じ手順で文字を選び直す。

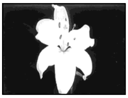
画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。

モザイク
→タイルを組み合わせたように

パステル
→淡い色のパステル画のように

ソラリ
→明暗を際だたせたイラストのように



スリム
→縦に引き伸ばしたように

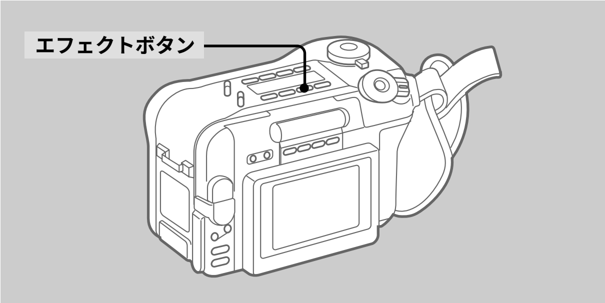
ネガアート
→色・明暗が反転した写真のネガフィルムのように

ストレッチ
→横に引き伸ばしたように

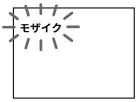
モノトーン　→白黒に

セピア　→古い写真のような色合いに

電源スイッチを「切」にすると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。



[撮影スタンバイ中] に、**エフェクトボタンを押して希望のエフェクトモード表示を出す。**



押すたびに変わります
モザイク→ソラリ→モノトーン→セピア→ネガアート→パステル→スリム→ストレッチ→（表示なし）

普通の画像に戻す

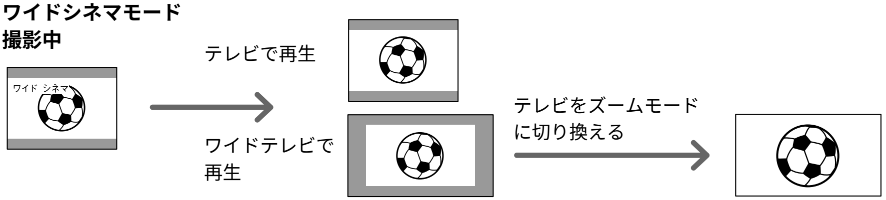
エフェクトボタンを繰り返し押して、エフェクトモード表示を消す。

横長の画面にする – ワイドTVモード

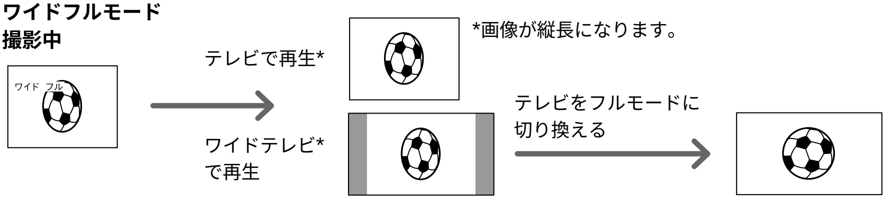
再生したときに横長の画面になるように撮影します。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

いつ使う?
- ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき
- ふつうのテレビで上下に黒い帯を入れて横長の画面にしたいとき

ワイドシネマモード
撮影中



ワイドフルモード
撮影中



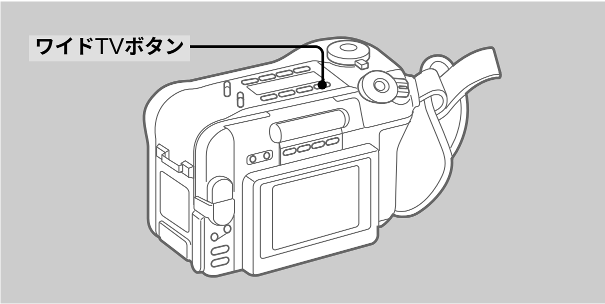
電源をはずして5分以上たつと
ワイドTVモードは解除されます。

「ワイドフル」を選ぶと
手振れ補正は働きません。手振れ補正が働いているときに「ワイドフル」を選ぶと((手))が点滅し、手振れ補正は働かなくなります。

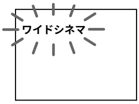
日付・時刻表示は
「ワイドフル」で記録すると、ワイドテレビで見る場合は横長の字になります。

ビデオIDシステム（ID-1）方式対応のテレビに接続すると
「ワイドTVモード」にして記録した画像が再生されると、自動的にズームモードかフルモードに切り換わります。

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。



[撮影スタンバイ中] に、**ワイドTVボタンを押して、希望のワイドTVモード表示を選ぶ。**



押すたびに変わります
ワイドシネマ→ワイドフル→（表示なし）

ワイドTVモードを解除する

ワイドTVボタンを押して、ワイドTVモード表示を消す。

手振れ補正を解除する

手振れ補正はハンディカムを手に持って撮るときに効果があります。

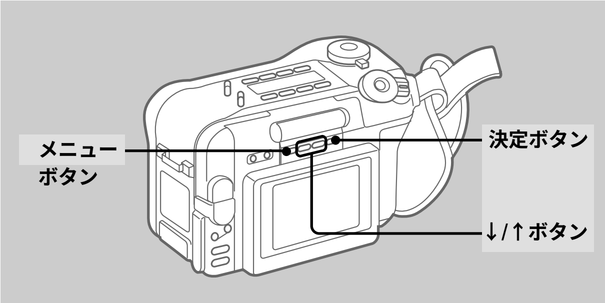
三脚に取り付けるなど手振れの心配がないときは、手振れ補正を「切」にしたほうが自然な画像になります。

ご注意

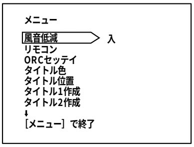
手振れ補正が「入」になっていても、手振れが大きすぎると、補正されないことがあります。

手振れ補正を解除しているときは

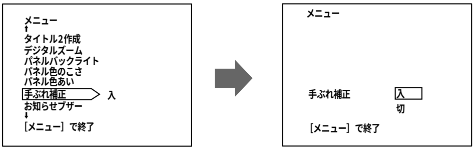
手振れ補正表示(手振れマーク)が出ません。



1 [撮影スタンバイ中] に、**メニューボタンを押し、メニュー画面を出す。**



2 ↓または↑ボタンで「手振れ補正」を選び、決定ボタンを押す。



3 「切」を選び、決定ボタンを押す。

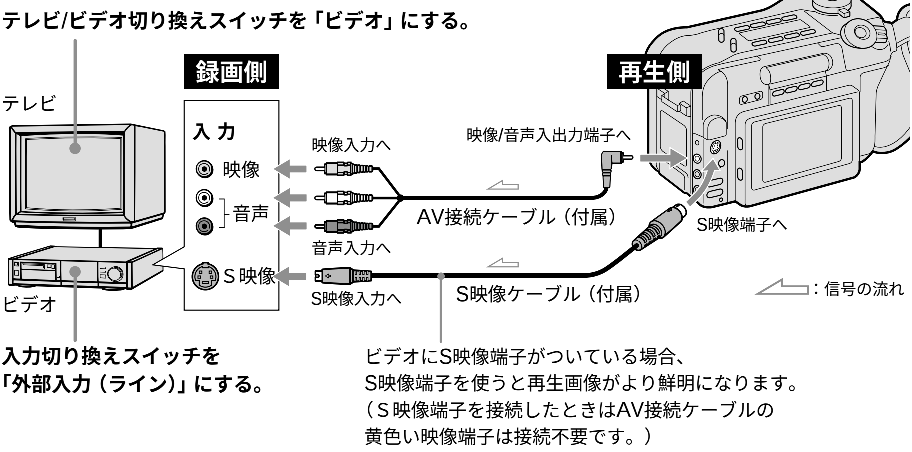
4 メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

手振れ補正を働かせるときは

手順3で「入」を選び、決定ボタンを押す。

他のビデオへ録画する

本機を再生機、他のビデオを録画機として使い、ダビング・編集ができます。



相手側のビデオは
以下のどの方式のビデオでも使えます。
8, Hi8, VHS, VHSC, S VHS, S VHSC, β

音声入力端子がひとつ（モノラル）のビデオにつなぐときは
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

❶ 本機に録画済みのカセットを、他のビデオに録画用のカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ メニューで「エディット」を「入」にする。（36ページ）

❹ 本機のカセットを再生し、他のビデオに録画したい場面でII一時停止ボタンを押す。

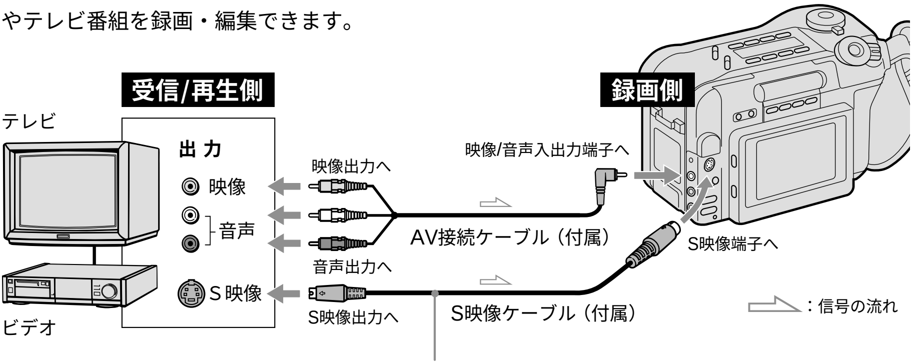
❺ 録画機を録画一時停止にする。

❻ 本機と録画機のII一時停止ボタンを同時に押す。

ダビング・編集が終わったら、メニューで「エディット」を「切」にする。

ビデオやテレビの画像を録画する

本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。



テレビやビデオにS映像端子がついている場合、S映像端子を使うと再生画像がより鮮明になります。（S映像端子を接続したいときはAV接続ケーブルの黄色い映像端子は接続不要です。）

ご注意

- ビデオやテレビにS映像端子がない場合、本機にS映像ケーブルはつながないでください。映像が出なくなります。
- 本機の音量は最小にしておいてください。画像が乱れることがあります。

音声出力端子がひとつ（モノラル）のビデオにつなぐときは

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグを音声出力へつなぎます。
音声は、左音声として記録されます。

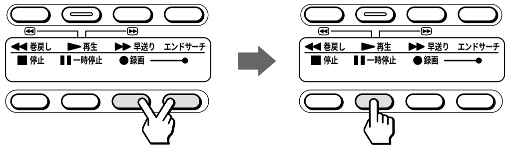
1 本機に録画用のカセットを、他のビデオに録画済みのカセットを入れる。

2 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

ビデオやテレビの画像が液晶画面に出る。

3 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押す。



4 他のビデオで再生を始める。または録画したいテレビ番組を受信する。

5 録画したい場面で❚❚一時停止ボタンを押す。

録画が始まります。

バッテリー以外の電源で使う

テープを再生するときなど、長時間使用するときは家庭用コンセントや自動車の電源を使うと、バッテリー切れの心配なく使えます。

ご注意
本体側面のカバー内にある端子には触れないでください。

バッテリー以外の電源で使うとき
メニューのパネルバックライトが自動的に「明るい」になり、液晶画面が明るくなります。このときメニュー画面を出してもパネルバックライトの項目は表示されません。

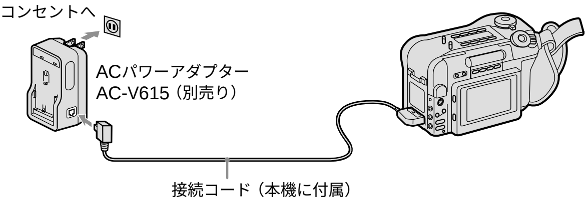
本機に接続コードをつないでいると
バッテリーを入れてもバッテリーを電源としては使えません。

コンセントにつないで使うとき
接続コードを引っぱらないようにしてください。プラグがコンセントから抜けることがあります。コンセントにつないで使うときは、市販の延長コードを使うことをおすすめします。

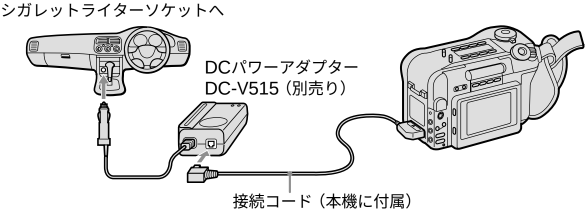
本体内充電をしたときの充電時間（別売りバッテリーパックNP-F530使用時）
本体内充電
　満充電：約3時間30分
　実用充電：約2時間30分
2個同時充電
　満充電：約4時間
　実用充電：約3時間

2個同時充電のときは
本体とACまたはDCパワーアダプターの両方の充電中ランプがつきます。充電が完了すると両方のランプが消えます（実用充電）。どちらかが点灯していたら両方とも実用充電が完了していません。

コンセントにつないで使う

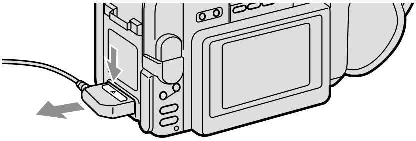


自動車電源につないで使う



接続コードを取りはずす

接続プラグのボタンを押しながら抜く。



上の接続をしてバッテリーの充電をする－本体内充電

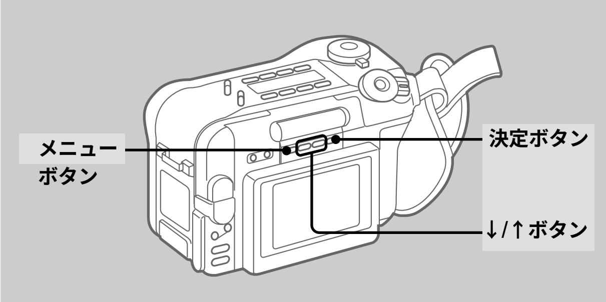
1 上の接続をし、本体にバッテリーを入れる。

2 電源スイッチを「切」にする。
本体の充電中ランプが点灯し、本体内のバッテリーを充電する。充電されると充電中ランプが消えます（実用充電）。このときACまたはDCパワーアダプターにバッテリーを取り付けておくと2個同時に充電します。

各種の設定を変える – メニュー

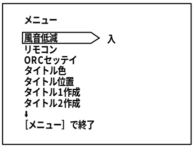
ご注意

- 電源スイッチが「ビデオ」のときと「カメラ」のときでは、メニュー内容が異なります。
- 対面撮影中は、液晶画面にメニュー画面が出ません。



---

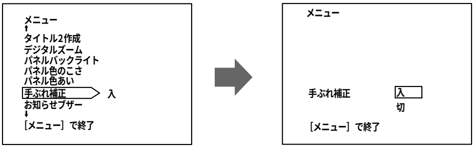
❶ メニューボタンを押す。



---

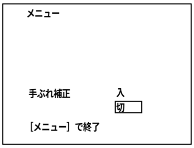
❷ ↓または↑ボタンを押して希望の項目を選び、決定ボタンを押す。

希望の項目だけが表示されます。



---

❸ ↓または↑ボタンを押して設定を切り換え、決定ボタンを押す。



---

❹ 必要なだけ手順2、3を繰り返す。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

	項目	設定	意味	どんなとき
電源スイッチが「ビデオ」または「カメラ」のとき	**リモコン**	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く	通常はこの位置へ
		切	リモコンが働かない	他機のリモコンによって誤動作するときなど
	おしらせブザー	●入	撮影スタート／ストップ時や誤った操作をしたときにブザーが鳴る	通常はこの位置へ
		切	ブザー音が鳴らない。	ブザー音を消したいとき
	パネル色のこさ		液晶画面の色のこさを調節	→詳しくは39ページ
	パネル色あい		液晶画面の色あいを調節	→詳しくは39ページ
	パネルバックライト*	●明るさノーマル	ー	通常はこの位置へ
		明るい	液晶画面を明るくする	画面が暗いとき
電源スイッチが「ビデオ」のとき	**エディット**	●切	ー	通常は必ずこの位置へ
		入	編集時の画質劣化を低減	ダビング・編集で本機を再生機として使うとき
	バイリンガル	●切	ステレオ音声または主＋副音声で再生	→詳しくは42ページ
		メイン	モノラル音声または主音声で再生	→詳しくは42ページ
		サブ	副音声で再生	→詳しくは42ページ
	TBC	●入	再生時の画面のゆれを補正	通常はこの位置へ
		切	ー	画面が乱れるとき(補正をやめると直ることがあります)
	DNR	●入	再生画の色ノイズを軽減	通常はこの位置へ
		切	ー	色残像が出て気になるとき

* 「明るい」を選ぶと撮影時のバッテリー使用時間が約1割短くなります。
バッテリー以外の電源で使うときはパネルバックライトは自動的に「明るい」になります。このとき、メニューにパネルバックライトの項目は表示されません。

次のページへつづく

各種の設定を変える – メニュー（つづき）

電源スイッチが「カメラ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
風音低減	●切	ー	通常はこの位置へ
	入	「ボコボコ」という風音 (低音) を低減	風がある場所で撮影するとき
デジタルズーム	●入	ズームが10倍を超えるとデジタルズームが働く	通常はこの位置へ
	切	デジタルズームを使用しない（ズームは10倍まで）	デジタルズームで画質が低下するのを避けるとき
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯	通常はこの位置へ
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる	被写体に撮影していることを意識させたくないとき
日時あわせ		ー	時計を合わせ直すとき →詳しくは40ページ
ORC**セッテイ****		テープの種類や状態に合わせて最適な状態で録画できるようにする	→詳しくはこのページ欄外
タイトル色		タイトルの色を選ぶ	→詳しくは27ページ
タイトル位置		タイトルの位置を選ぶ	→詳しくは27ページ
タイトル1、2**作成**		タイトルを作る	→詳しくは28ページ
手ぶれ補正	●入	手振れを補正	通常はこの位置へ
	切	ー	手振れの心配がないとき
オートデート	●入	録画を始めると10秒間自動で日付を記録	必ず日付を入れたいとき
	切	ー	日付を入れたくないとき

電源をはずして5分以上たつと
以下のメニュー項目はお買い上げ時の設定に戻ります。
「風音低減」、「リモコン」、
「エディット」、
「バイリンガル」
その他のメニュー項目では電源をはずしても設定を保持しています。

被写体に接近して撮るとき
録画ランプが「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合、録画ランプを「切」にすることをおすすめします。

*ORCセッテイは次の手順で設定します

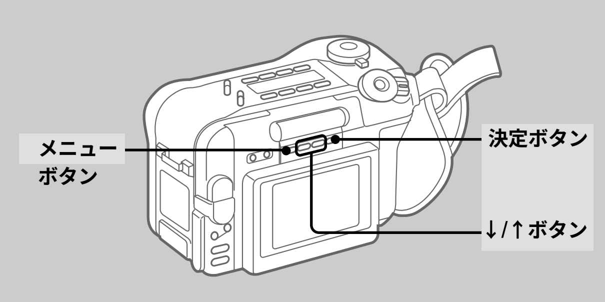
1 カセットを入れて撮影を始める前に、メニューボタンを押す。

2 ↓または↑を押して、ORCセッテイを選び、決定ボタンを押す。液晶画面に「カメラ録画ボタンをおしてください」と出ます。（カメラ録画ボタンはスタート/ストップボタンのことです。）

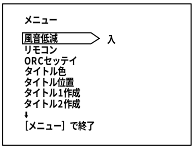
3 スタート/ストップボタンを押す。
液晶画面に「ORC」が約9秒間点滅し、設定が終了すると点滅が消えます。メニューのORCセッテイを選ぶと「完了」と表示されます。

カセットを取り出すと設定が解除されます。カセットを入れ換えるたびに設定してください。
ORC設定時、テープ状態を調べるためにテープ上の画像記録を約0.1秒消去します。この空白は設定したところから録画を始めるか、その部分に録画すると消えます。録画済みテープを使うときはご注意ください。
誤消去防止ツマミが赤くなっているテープにはORC設定はできません。

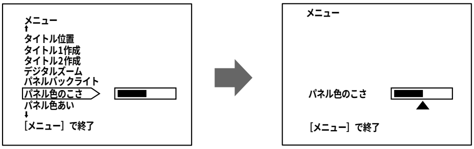
液晶画面の色のこさ・色あいを調節する



❶ **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**



❷ **↓または↑ボタンを押して「パネルの色のこさ」または「パネルの色あい」を選び、決定ボタンを押す。**



❸ **↓または↑ボタンで「パネルの色のこさ」または「パネルの色あい」を調節し、決定ボタンを押す。**

パネルの色のこさ　　パネルの色あい

色がうすくなる　こくなる　肌の色が赤みがかる　緑がかる

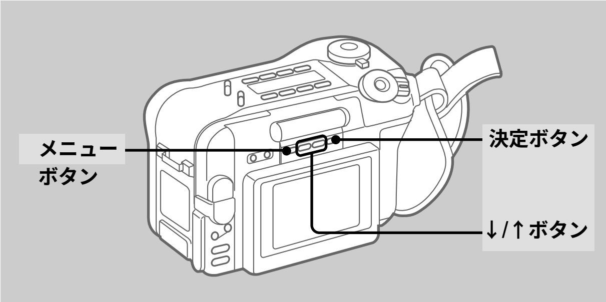
❹ **メニューボタンを押してメニュー画面を消す。**

日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時にあらかじめ日付・時刻は設定されていますが、1年近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（44ページ）

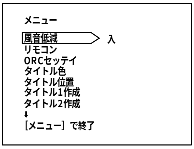
いつ使う?
- 海外に行くとき
- しばらく使わずにいて時計が合っていないとき

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

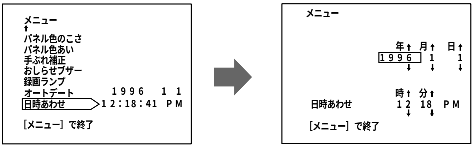


年→月→日→時→分の順で合わせます。

❶ [撮影スタンバイ中] に、**メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**



❷ **↓または↑ボタンを押して「日時あわせ」を選び。決定ボタンを押す。**

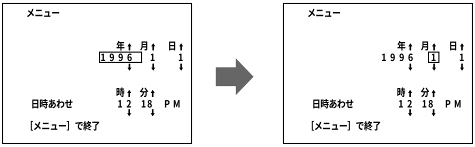


❸ 「年」を合わせる。

↓または↑ボタンを押して「年」を選び、決定ボタンを押す。

年表示は次のように変わる。

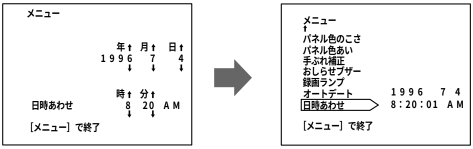
→1996 →1997 →..... 2000 .....→2029 →



❹ 手順3と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

❺ 「分」と「秒」を合わせる。

「分」を合わせて時報と同時に決定ボタンを押す。時計が動き始める。



❻ メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

日付・時刻を確認する

日付ボタンを押すと日付が、時刻ボタンを押すと時刻が液晶画面に出る。

もう1度押すと消える。

使えるビデオカセットと記録・再生方式

記録・再生するときのテープの種類

本機ではHi8（ハイエイト）テープHi8とスタンダード8ミリテープ8が使えます。

Hi8（ハイエイト）テープ：
　自動でHi8方式の録画→再生

スタンダード8ミリテープ：
　自動でスタンダード方式の録画→再生

他のカメラで撮ったテープを本機で再生するときは録画方式を自動で判別します。

Hi8方式:従来のスタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。
Hi8方式で録画すると、Hi8方式対応でないビデオでは正常に再生できません。

本機ではLPモードでの録画はできません

再生するときは、録画済みのテープがLPモードで録画されたものでもSPモードで録画されたものでも自動的に判別して再生します（LPモードはSPモードよりも画質が劣ります）。

音声多重放送テープを再生するとき

AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声放送を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。メニューは電源スイッチを「ビデオ」にして出します（36ページ）。

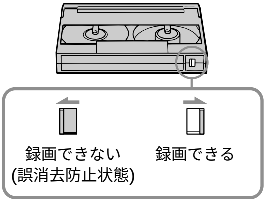
本機では二重音声放送は主音声と副音声が混ざって記録されます。

メニューの「バイリンガル」の設定	テレビのスピーカーから聞こえる音声	
	ステレオ放送を記録したテープ	二重音声放送を記録したテープ
「切」	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」	モノラル音声	主音声
「サブ」	不自然な音声になります	副音声

ご注意

- 本機で撮影した画像は、通常のHi8方式より、水平解像度が10%ほど低下します。
- 次の場合、音声はモノラルです。
  - 本機のAFM Hi-Fiステレオ方式で記録したテープをモノラル方式の8ミリビデオで再生する場合。
  - モノラル方式の8ミリビデオで記録したテープを本機で再生する場合。

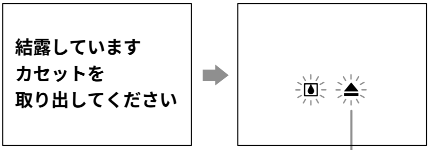
間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらして「赤」にします。



お手入れについて

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、液晶画面に下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。



5秒間表示

テープが入っているときに点滅

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出し以外できません。

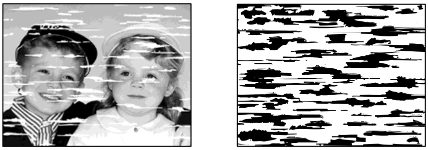
電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてテープ走行ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。
次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLHを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 液晶画面に「⊗ヘッドが汚れています」と「🖭クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像



初期 → 末期

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起こりやすいのは
次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。
- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために
本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは
長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

次のページへつづく

お手入れについて（つづき）

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1年近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合は日時は記録されないままで本機を使うことはできます。

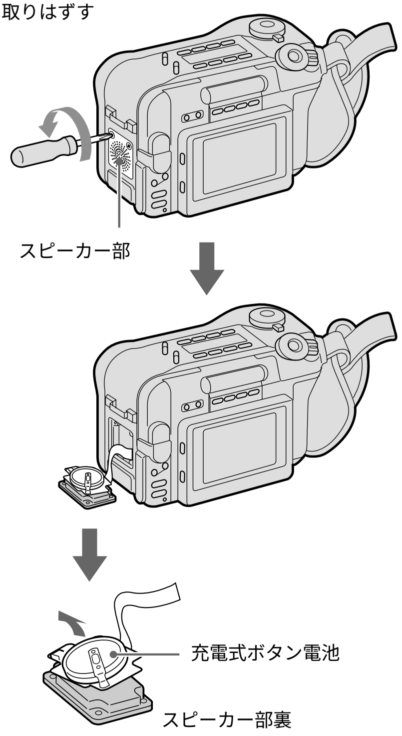
充電方法

本機を別売りのACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切」にして24時間以上放置する。

本機を廃棄するときは

環境保護のため充電式ボタン電池を取りはずし、適宜処理してください。

＋ドライバーでスピーカー部をはずし、
充電式ボタン電池を
取りはずす



故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、お客様ご相談センター、またはCCD-SC55テクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にお問い合わせください。液晶画面に見慣れない表示が出たときは、56ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない	• 電源スイッチが「カメラ」になっていない。	•「カメラ」にする。	12
	• テープが終わりになっている。	• 巻き戻すか、新しいテープを入れる。	10,19
	• カセットが誤消去防止状態になっている。	• そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。	42
	• テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	• カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	43
	• スタート/ストップモードスイッチが になっている。	• にする。	14
電源が途中で切れる	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	電源スイッチを一度「切」にしてから、「カメラ」にする。	28
手振れ補正が働かない	• メニューの「手振れ補正」が「切」になっている。	•「入」にする。	32
	• ワイドTVボタンで「ワイド フル」を選んでいる。	•「ワイド　フル」にすると手振れ補正は働きません。	31
オートフォーカスが働かない	フォーカス固定になっている。	フォーカス固定を解除する。	15
液晶画面内に⊗が点滅している	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	43
タイトルの表示位置がずれる	タイトルの前や後ろに余分な空白が入っている。	左端から文字を入れ、タイトルの文字のあとに空白を入れずに↵を選んで決定する。	28

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
テープ走行ボタンが働かない	• 電源スイッチが「ビデオ」になっていない。	•「ビデオ」にする。	17
	• テープが終わりになっている。	• テープを巻き戻す。	19
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではない。	—	—
明るい被写体を写すと縦に尾を引いたような画像になる	スミア現象といい、故障ではない。	—	—
画像がぼけたり、 映らなかったりする	• メニューの「エディット」が「入」になっている。	•「切」にする。	36
	• ビデオヘッドが汚れている。	• 別売りのクリーニングカセットできれいにする。	43
音声が小さいまたは聞こえない	• メニューの「バイリンガル」を「サブ」にしてステレオで記録されたテープを再生している。	•「バイリンガル」を「切」にする。	36
	• 音量を最小にしている。	• 音量を大きくする。	18
画像が上下にゆれる	• メニューの「TBC」を「入」にしてゲーム機の画像を録画したテープを再生している。	•「TBC」を「切」にする。	36
	• メニューの「TBC」を「入」にしてダビングを繰り返したなど記録状況の悪いテープを再生している。	•「TBC」を「切」にする。	36

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチをビデオ／カメラにしても動作しない	• バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。	• 充電されたバッテリーを入れる。	8,9
	• ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	• コンセントに差し込む。	35

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
エンドサーチが働かない	• 撮影後にカセットを取り出した。	—	16,19
	• カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、1度も撮影していない。	—	16,19
バッテリーの消耗が早い	• 温度が極端に低いところで撮っている。	—	—
	• 充電が不充分。	• 充分に充電する。	8
	• バッテリーそのものの寿命。	• 新しいバッテリーに交換する。	9
カセットが取り出せない	• 電源（バッテリーやパワーアダプター）がはずれている。	• 電源をきちんと接続する。	9,35
	• バッテリーが消耗している。	• 充電されたバッテリーを入れる。	9
💧や⏏が点滅し、カセットの取り出し以外できない	結露	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	43
付属のワイヤレスリモコンが働かない	• メニューの「リモコン」を「切」にしている。	•「入」にする。	36
	• リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	• 障害物を取り除く。	—
	• リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	• ⊕極と⊖極を正しく入れる。	52
	• 乾電池そのものの寿命。	• 新しい乾電池に交換する。	52
本体内充電をした後に充電中ランプが点滅する	故障ではありません。	—	—
電源が入っているのに操作できない	—	バッテリーまたはACパワーアダプターの接続プラグを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACパワーアダプターの接続プラグを取りつけ電源を入れる。それでも操作できないときは本体のリセットボタンを先のとがったもので押す。（この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。）	51

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません

万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

”故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、添付の”ソニーご相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーサービス窓口、またはCCD-SC55テクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外で使うとき

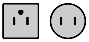
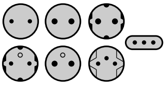
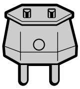
本機は外国でもお使いになれます

別売りのACパワーアダプターAC-V615は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米、南米など	 主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK文研月報による）

主な仕様

システム

録画方式	回転4ヘッドヘリカルスキャFM方式
録音方式	回転ヘッドFM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
テープ速度	SP：約1.43 cm/秒 LP：約0.72 cm/秒（再生のみ）
録画/再生時間	SPモード：2時間 LPモード：4時間（E6/P6-120使用時）（再生のみ）
早送り、巻き戻し時間	約6分（E6/P6-120使用時）
映像素子	CCD固体映像素子
レンズ	10倍ズームレンズ 焦点距離 f = 4.2～42 mm （35 mmカメラ換算では48～480 mm） F 1.8～2.9 TTLオートフォーカス機構付き インナーフォーカスマクロ付き
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	10ルクス（F 1.8）
被写体照度範囲	10～100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上

入・出力端子

S映像端子	入力/出力自動切り換え 4ピンミニDIN（1） 輝度信号：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負 色信号：0.286 Vp-p、75 Ω不均衡
映像/音声入出力端子	入力/出力自動切り換え 特殊ステレオミニジャック（1） 映像：75 Ω不平衡、同期負 音声：327 mV、インピーダンス47 kΩ以上
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック（Ø 3.5）（1）
マイク入力端子	ステレオミニジャック（1） 0.388 mV、 入力インピーダンス6.8 kΩ （Ø 3.5）
接続端子	26ピンコネクター

液晶画面

画面サイズ	3型
有効画面領域	59.5 mm×43.2 mm （幅×高さ）
使用液晶パネル	TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリクス）駆動
総ドット数	89,856ドット 横384×縦234

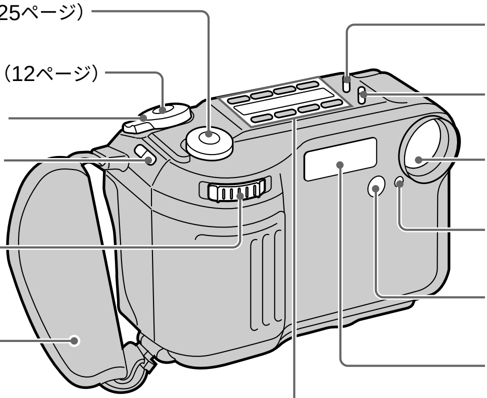
電源部、その他

電源電圧	バッテリー挿入口入力7.2 V 26ピンコネクター6.5/8.4 V
消費電力	録画時5.0 W
動作温度	0 ℃～＋40 ℃
保存温度	－20 ℃～＋60 ℃
最大外形寸法	140×101×76mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約660 g （バッテリー、テープ含まず）
撮影時総質量	約800 g （バッテリーパックNP-F530、テープE6-120HMP1含む）
内蔵マイクロホン	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
スピーカー	ダイナミックスピーカー
付属品	ワイヤレスリモコン（1） 単3型乾電池（リモコン）（1） AV接続ケーブル（1） S映像ケーブル（1） 接続コード（1） 遮光フード（1） 撮り方ビデオ（1） 取扱説明書（1） 取扱説明書（安全のために）（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

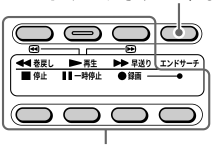
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ 使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

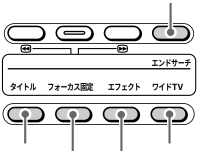
本体



「ビデオ」のとき*



「カメラ」のとき*



* 表示されたボタンのみ使えます。
例えば録画中は再生ボタンの表示
は消え、操作できなくなります。

このマークは、ソニーのビデオ機器関連商品の純正マークです。

GENUINE VIDEO ACCESSORIES

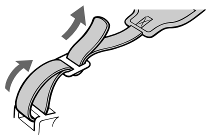
純正マーク

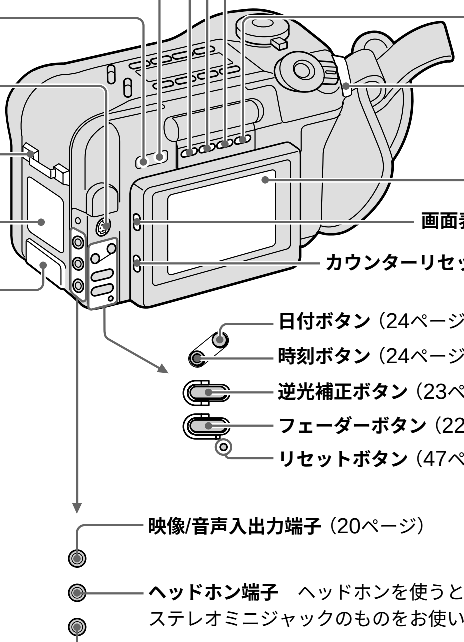
弊社のビデオ機器をお求めの際は同じマークもしくはソニーのロゴマークがついているビデオ関連商品をおすすめします。

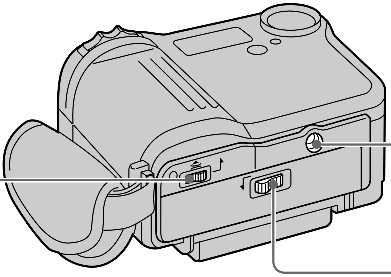
別売りの外部マイクを使う場合

マイク (プラグインパワー) 端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。外部マイクを使っているときは風音低減機能は働きません。

ショルダーベルト (別売り) の取り付けかた

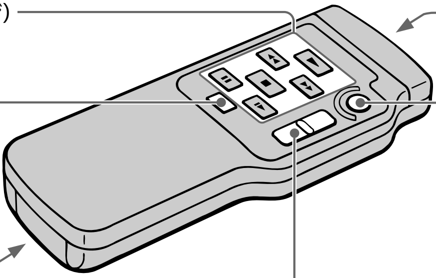



メニューボタン（36ページ）
充電ランプ（35ページ）
録画ランプ（13ページ）
S映像端子（20ページ）
ショルダーベルト取付部
（50ページ）
スピーカー（18ページ）
接続端子（35ページ）
メニュー↓ボタン
（36ページ）
メニュー↑ボタン
（36ページ）
決定ボタン（36ページ）
ショルダーベルト
取付部（50ページ）
液晶画面
画面表示ボタン（18ページ）
カウンターリセットボタン（13ページ）
日付ボタン（24ページ）
時刻ボタン（24ページ）
逆光補正ボタン（23ページ）
フェーダーボタン（22ページ）
リセットボタン（47ページ）
映像/音声入出力端子（20ページ）
ヘッドホン端子　ヘッドホンを使うときは
ステレオミニジャックのものをお使いください。
マイク端子（50ページ）


開く（バッテリー）つまみ
（9ページ）
三脚用ネジ穴（5ページ）
三脚を使うときは、ネジ
の長さが6.5mmのものを
お使いください。
開く/カセット取り出し
つまみ（10ページ）

各部のなまえ（つづき） 使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

ワイヤレスリモコン



テープ走行ボタン (17ページ)

画面表示ボタン
(18ページ)

乾電池ぶた（裏面）

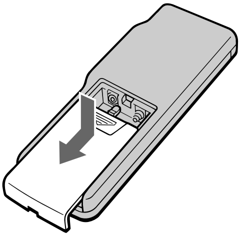
リモコン発光部

スタート／ストップボタン (13ページ)
撮影スタンバイまたは撮影中に使います。リモコンではスタート/ストップモードを ⊥ にしての撮影はできません。

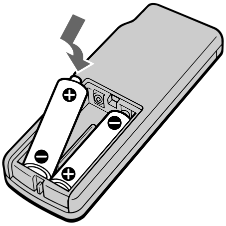
ズームボタン
(14ページ)

電池の入れかた

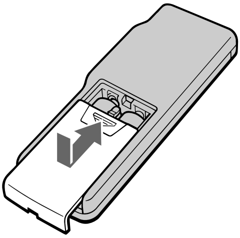
❶ 押しながらずらす。



❷ 入れる。



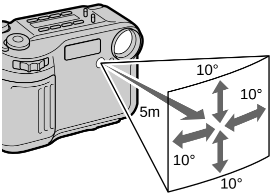
❸ もとに戻す。



リモコンについて

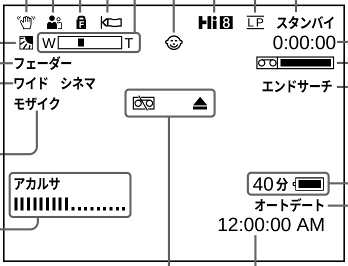
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンの操作範囲



操作範囲は室内で使用したときの値です。

液晶画面の表示



ズーム表示 (14ページ)

風音低減表示 (38ページ)

フォーカス固定表示 (15ページ)

プログラムAE表示 (25ページ)

手振れ補正表示 (32ページ)

逆光補正表示 (23ページ)

フェーダー表示 (22ページ)

ワイドTV表示 (31ページ)

ピクチャーエフェクト表示
(30ページ)

明るさ表示 (15ページ)
/音量表示 (18ページ)

警告表示 (56ページ)

日付または時刻表示 (24ページ)

対面撮影モード表示
(21ページ)

ハイエイト表示 (42ページ)
Hi8 (ハイエイト) 方式のとき出る。

LPモード表示
LPモードで記録したテープを再生するとき出る。

撮影スタンバイ・
撮影中表示 (12ページ)
テープ走行表示

テープカウンター

テープ残量表示 (56ページ)

エンドサーチ表示 (16ページ)

バッテリー残量表示
(56ページ)
バッテリーパックNP-F530を使っているときのみ分の表示が出る。

オートデート表示
(13ページ)

デモンストレーションについて
本機には機能が一覧できるデモンストレーションが内蔵されています。撮影しようとしたときにデモンストレーションが始まったら、デモンストレーションが出ないようにして撮影を始めてください。

デモンストレーションを見る
1 カセットを取り出して電源を切る。
2 電源スイッチを「ビデオ」にする。
3 テープ走行ボタンの▷再生ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。
デモンストレーションが始まる。

いったんデモンストレーションが始まると電源を切っても再び電源スイッチを「カメラ」にすると、約10分後に始まります。カセットを入れると、デモンストレーションは中断されます。

デモンストレーションが出ないようにする
1 電源スイッチを「ビデオ」にする。
2 テープ走行ボタンの■停止ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

用語解説

カ行

逆光補正 …23ページ
逆光で被写体が黒っぽく映るのを防ぐ機能。本機は画面全体で明るさをいつも一定の量に保つ働きがある。逆光で撮影するときにもこの一定の「量」を保とうとして、被写体が暗めになる。逆光補正の機能を使うと、この「量」が多くなり被写体を明るめに自動調節する。

サ行

撮影スタンバイ …12ページ
「撮影を待機する・準備する」という意味。電源スイッチを「カメラ」にし、撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

タ行

手振れ補正 …32ページ
カメラの揺れを感知して、その揺れを補正する機能。手振れ補正を使用しても画質や画角、消費電力は変わらない。

ナ行

ノイズ …43ページ
静止画やピクチャーサーチの画像などに出る、横すじ状の線や画像の乱れ。

ハ行

プログラムAE（エーイー） …25ページ
被写体や撮影状況により適した撮影を可能にする機能。本機には6種類のモードがある。
シャッタースピードやアイリス（絞り）をモードにより自動で調節する。

ヘッド …43ページ
映像や音声信号をテープに記録したり、テープに記録されている信号を読み取ったりする本機の心臓部分。使っているうちに汚れて、きれいに再生できなくなったときは、クリーニングカセットを使ってきれいにする。

ラ行

リモコンモード …52ページ
リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1・VTR2・VTR3・VTR4の4種類がある。本機はVTR2。編集時は、他のソニー製ビデオデッキをVTR1とVTR3、VTR4のどれかに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

ワ行

ワイドTVモード …31ページ
再生したときにワイド画面（横:縦＝16:9）になるように撮影するときの設定。ワイドシネマ、ワイドフルの2種類がある。
ワイドシネマ
横縦比4:3の画像の上下に黒い帯を入れて横縦比を16:9にしてテープに記録する。映る範囲は狭くなるがふつうのテレビで再生したときに横縦比16:9で再生される。
ワイドフル
横縦比16:9のワイドテレビで再生したときに画面いっぱいに映るように画像を縦長に圧縮して記録する。横縦比4:3のふつうのテレビで再生すると縦長に押しつぶされた映像になる。

アルファベット順

エーエムエフハイファイ
AFM Hi-Fiステレオ …42ページ

スタンダード方式8ミリビデオでAFM Hi-Fiモノラル方式である標準音声トラックをステレオ化したもの。臨場感にあふれ、立体感のある明瞭度の高いステレオ音声。

ディーエヌアール
DNR …37ページ

Digital（デジタル） Noise（ノイズ） Reduction（リダクション）の略。フィールドメモリーを利用して前後の映像信号を合成してノイズを削減する機能。再生時の色信号とカメラ録画時のノイズの削減に大いに役立つ。

アイディーワン
ID-1方式 …31ページ

ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名称。

エルピーエスピー
LP/SPモード …42ページ

Long（ロング） playing（プレイング） mode（モード）とStandard（スタンダード） playing（プレイング） mode（モード）の略でテープスピードモードの名称。VHS方式のビデオの、3倍と標準にあたる。

エヌティーエスシー
NTSC方式 …48ページ

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPAL（パル）やSECAM（セカム）方式のビデオでは再生できない。
海外で本機を使うときは、ご注意ください。

オーアールシー
ORC …38ページ

テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質で録画する機能。一度設定すればテープを出さないかぎり設定は保持される。

エス
S映像端子 …20ページ

映像信号を構成する色信号と輝度（白黒）信号を分離して、より鮮明な映像を再現する端子。Hi8 (ハイエイト) 方式に適している。本機を記録機として使う場合には映像端子よりもS映像端子を優先的に選ぶ。

ティービーシー
TBC …37ページ

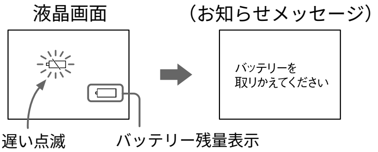
Time（タイム） Base（ベース） Corrector（コレクター）の略。メカニズムのトルク変動によって発生する映像信号の時間軸誤差ージッター（画像の微妙な横ユレ）を、デジタル技術を用いて、正しく補正させる機能。他のビデオデッキやビデオカメラレコーダーで記録したテープを再生するときに、大いに役立つ。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面には、次のような表示が出ます。詳しい説明は、(　) 内のページにあります。

- 対面撮影中はお知らせメッセージは出ません。
- 表示は実際には黄色です。
- ♪はおしらせブザー音の鳴るものです。

バッテリー残量



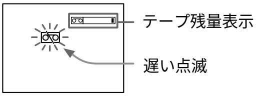
バッテリー残量表示について

インフォリチウムバッテリーNP-F530をお使いのときは分表示も出ます。*

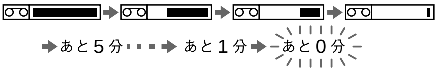
残量表示が▭になると液晶画面に▭マークが点滅する。インフォリチウムバッテリーNP-F530をお使いのときは残量時間が5分〜10分あっても環境によっては▭マークが点滅する場合があります。

* 残量時間は使用状況や環境により正しく表示されない場合があります。

テープ残量

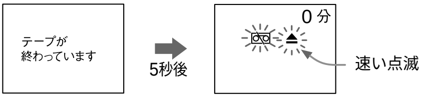


テープ残量表示について



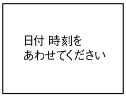
残量表示が「あと5分」になると液晶画面にマークが点滅する。

♪テープの終わり



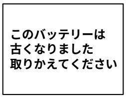
日付・時刻の未設定 (40ページ)

日付、時刻を設定してもこのメッセージが出る場合は、内蔵の充電式ボタン電池が放電しています。充電してください。(44ページ)

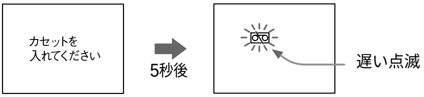


バッテリーの寿命

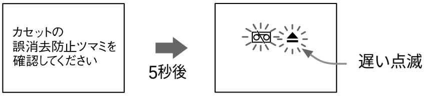
バッテリーパックNP-F530をお使いのときのみ表示が出ます。



カセットが入っていない

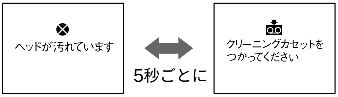


♪カセット誤消去防止 (42ページ)

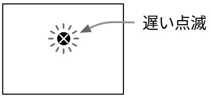


カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

ヘッド汚れ (43ページ)

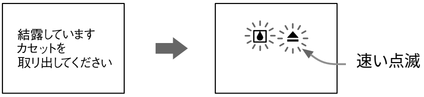


対面撮影中



クリーニングカセットできれいにする。

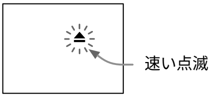
♪結露 (43ページ)



テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

♪その他の異常

一度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。



索引

ア行
明るさ調節 15
エディット ..... 33、36
エンドサーチ ..... 16、19
おしらせブザー 56
お知らせメッセージ 56
お手入れ 43
音声多重テープ 42

カ行
海外で使うとき 48
外部マイク（別売り） 50
カウンター 13
カセットの入れかた 10
画面表示 ..... 13、18
カラーテレビ方式 48
逆光補正 23
記録・再生方式について 42
クリスタルスチル 19
クリスタルスロー 19
クリスタルピクチャーサーチ 19
グリップベルト 4
警告表示 56
結露 43
広角 14
高速アクセス 19
故障かな？と思ったら 45
誤消去防止ツマミ 42

サ行
再生 17
撮影が終わったら 15
撮影する 12
サブ（音声） 42
三脚 51
実用充電 8
充電 8
充電確認マーク 8
主音声 42
ズーム 14
スタンダード8ミリ方式 42
ステレオ放送テープ 42
接続 (テレビで見るとき) 20
(編集のとき) 33

タ行
タイトル 26
対面撮影 21
使えるビデオカセットテープ 42
つなぎ撮り 16
テープ残量表示 56
テープの終わり表示 56
手振れ補正 32
デモンストレーション 53
テレビで見る 20
電源 (家庭用コンセント) 35
(自動車の電源) 35
(バッテリー) 8
撮る姿勢 4

ナ行
二重音声放送テープ 42

ハ行
バイリンガル 42
バッテリー残量表示 56
バッテリー 8
ピクチャーエフェクト 30
日付・時刻合わせ 40
日付・時刻の記録 24
フェーダー 22
フェードイン・フェードアウト 22
フォーカス固定 15
副音声 42
プログラムAE 25
ヘッド 43
ヘッド汚れ表示 43
編集 33
望遠 14

マ行
満充電 8
メニュー 36
メイン（音声） 42
モザイクフェーダー 22
モノラル ..... 20、33、34

ラ行
リモコン受光部 52

ワ行
ワイドTV 31
ワイヤレスリモコン 52

アルファベット順
ACパワーアダプター ..... 8、35
AFM Hi-Fiステレオ方式 42
AV接続ケーブル . 20、33、34
DNR 37
Hi8（ハイエイト）方式 42
ID-1方式 31
NTSC方式 48
ORC 38
S映像端子 ..... 20、33、34
TBC 37

こんなときはこの機能

撮影するとき

撮影状況に合わせたい

明るい

　スキー場、真夏の海岸
　　→ ビーチ＆スキーモード（25ページ）

　舞台、結婚式
　　→ スポットライトモード（25ページ）

　白い服の人物が白い壁の前にいる
　　→ 逆光補正（23ページ）

　背後に光があり顔が暗くなる
　　→ 逆光補正（23ページ）

暗い

　夜景、夕景、花火
　　→ サンセット＆ムーンモード（25ページ）

風が強い
　→ メニュー：風音低減（38ページ）

撮りたいところが広い
　→ 風景モード（25ページ）

列車から窓の外を撮る
　→ 風景モード（25ページ）

被写体の動きが速い

　ゴルフスイングなど
　　→ スポーツレッスンモード（25ページ）

三脚が使える
　→ 手振れ補正解除（32ページ）

画像をこうしたい

より自然な感じにしたい
　→ 手振れ補正解除（32ページ）

効果的な場面転換をしたい
　→ フェードイン、フェードアウト（22ページ）

被写体を引き立てたい
　→ ソフトポートレートモード（25ページ）

映画のように横長の画像にしたい
　→ ワイドTVモード（31ページ）

タイトルを出したい
　→ タイトル機能（26ページ）

ズーム時の画質の低下を抑えたい
　→ メニュー：デジタルズーム（38ページ）

画像にデジタル処理をしたい
　→ ピクチャーエフェクト（30ページ）

日時を記録したい
　→ 日時を記録する（24ページ）

テープの状態に合わせて録画したい
　→ メニュー：ORCセッテイ（38ページ）

再生するとき

モノラル音声、副音声で再生したい
　→ メニュー：バイリンガル（37ページ）

画面のゆれを補正したい
　→ メニュー：TBC（37ページ）

画像の色ノイズを軽減したい
　→ メニュー：DNR（37ページ）

液晶画面の色が変
　→ 液晶画面の色のこさ・色あいを調節する（39ページ）

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111

保証期間中の故障に関するお問い合わせは

CCD-SC55
　テクニカルインフォメーションセンターへ
　0120-28-8089（フリーダイヤル）

ご相談になるときは次のことをお知らせください

● 型名：　CCD-SC55
● 故障の状態：できるだけ詳しく
● お買い上げ年月日

Printed in Japan